

科目名	作詞・作曲1							年度	2025
英語科目名	Songwriting and Composition 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柿崎光		教員の実務経験	有	実務経験の職種		アーティスト活動、マネジメント		
【科目の目的】 自作楽曲のメロディーを5線紙に2小節で書き、メロディー譜面を作成するスキルを身につける。作詞作曲において実践的なテクニックを学び、リスナーに心に残るメロディーと歌詞の書き方を習得し、自分の楽曲をより良い形で完成させる手段を獲得する。オリジナル曲の基盤となるメロディと歌詞の創作方法を学ぶことに焦点を当てる。									
【科目の概要】 オリジナル曲の根拠となるメロディーと歌詞の創作方法を学びます。									
【到達目標】 A. 5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを2小節書き、メロディー譜面を作ることができる。 B. 作詞作曲における1種類の実践的なテクニックを学ぶ。 C. リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を学ぶことによって自分の楽曲をより良い形で完成させることができる。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標A	5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを2小節書き、メロディー譜面を作ることができる		5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを1小節書き、メロディー譜面を作ることができる。				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標B	作詞作曲における1種類の実践的なテクニックを使用できる		作詞作曲における1種類の実践的なテクニックについて説明できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標C	リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を学ぶことによって自分の楽曲をより良い形で完成させることができる		リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を説明できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
【教科書】 授業内でのワーク									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		作詞・作曲1			年度	2025
英語表記		Songwriting and Composition 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	記号習熟	譜読み強化	1 ト音記号学習	ト音記号を速読できる	3	
			2 ヘ音記号学習	ヘ音記号を速読できる		
			3 スピードリード	楽譜の速読能力向上		
2	リズム理解	リズム基礎	1 リズムの形状	リズムの形状を認識	3	
			2 シェイプ理解	複雑なリズムを理解		
			3 リズム実践	リズムの変形ができる		
3	ディクテーション	耳鍛錬	1 ディクテーション	ディクテーション理解	3	
			2 リズム譜読み	リズム譜を書き取れる		
			3 リズムの基礎	正確な耳コピ能力		
4	シンコペーション	リズム応用	1 シンコペーション	シンコペーション理解	3	
			2 リズムの魅力	メロディを豊かにできる		
			3 メロディ技法	リズムの強調技術		
5	5度圏活用	和声探究	1 5度圏表	5度圏表の活用法	3	
			2 応用技法	音階の関係性を掴む		
			3 使い方理解	和声の基盤を理解		
6	Degree学習	Degree習得	1 Degree学習	Degree表記の習熟	3	
			2 メロディ譜	メロディ譜への変換		
			3 Degree記入	ハーモニーの視覚化		
7	跳躍研究	跳躍解析	1 跳躍の研究	跳躍のメカニズム理解	3	
			2 ヒット曲分析	ヒット曲の分析力		
			3 効果的跳躍	効果的なメロディ技法		
8	構成解析	形式理解	1 楽曲構成	楽曲の構造把握	3	
			2 音楽用語	楽曲の要点を把握		
			3 役割理解	音楽用語の習熟		
9	作詞技法	創造力育成	1 作詞トレーニング	作詞の基本技法	3	
			2 発想力養成	発想の幅を広げる		
			3 歌詞作成	情熱的な歌詞作成		
10	和洋メロ学	和洋差異	1 和メロ特徴	和メロと洋メロの違い	3	
			2 洋メロ特徴	感情の伝達方法		
			3 文字数計算	正確な文字数カウント		
11	タイアップ法	楽曲展開	1 タイアップ楽曲	タイアップ楽曲の手法	3	
			2 制作方法	業界のニーズを掴む		
			3 メディア音楽	効果的なプロモーション		
12	テーマ性作詞	応用作詞	1 作詞テーマ	テーマに基づく作詞	3	
			2 清涼飲料歌	感覚を言葉に変換		
			3 イメージ作詞	広告への適用能力		
13	比喩学習	言葉の美学	1 比喩表現	比喩表現の活用	3	
			2 勸諭法学習	文学的手法の理解		
			3 隠喩・メタファ	情景を豊かに描写		
14	テスト対策	練習課題実践	1 テスト対策	テストの要点を押さえる	3	
			2 基本技法	重要項目の整理		
			3 まとめ・復習	全体の復習・確認		
15	総合復習	全体レビュー	1 擬人法学習	学期の総括	3	
			2 応用比喩法	自己評価の方法		
			3 最終確認	授業の振り返り		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等